



GFT-9060

こたつの「品名」および「形名」は天板を外し、こたつ本体上面の貼付けラベルをご参照ください。

ヒーターユニット型番

MS-303H

このたびは弊社商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意（1～5ページ）」を必ずお読みください。
- 保証書は裏表紙についています。「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。
- この商品は日本国内専用で、海外ではご使用いただけません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 取扱説明書のイラストと実際の製品の形状が異なる場合があります。

もくじ

ご使用前に

- 安全上のご注意・・・1～5
危険・警告・注意
- 各部のなまえ・・・6～7

使い方

- ご使用の準備・・・8～9
- ご使用の順序・・・10
- こたつの使い方・・・11
- テーブルとしての使い方・・・11
- 知っておいていただきたいこと・・・12

必要なときに

- お手入れと保管の方法・・・13
- 故障かな？と思ったら・・・13
- 仕様・・・14
- 保証とアフターサービス・・・14
- 保証書・・・裏表紙

お手入れと保管の方法

■お手入れ前に

- ・電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・本体を十分冷ましてから（約30分）お手入れをしてください。

■ヒーターカバーのお手入れ

- ・ヒーターカバーについてごみやほこりは掃除機で吸い取ってください。
- ・自転車の空気入れなどでごみやほこりを吹き飛ばすよりも効果的です。
- ・ごみやほこりが大量に付いたまま使用すると、発煙や異臭の原因となります。

■テーブルのお手入れ

- ・台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸した布で拭き取ってください。その後洗剤や水分が残らないようにしっかり乾拭きしてください。
- ・ワックスやクリーナーを使用するときには、説明書をよく読み、ご理解の上で使用ください。

■保管

- ・保管の前にヒーターカバーのお手入れをしてください。
- ・ごみやほこりが被らないようにこたつを覆い、湿気の少ない場所に保管してください。
- ・脚や付属品を紛失しないようお気をつけください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、症状をお確かめください。

症状	確認	処置
運転しない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ご家庭のブレーカーが「切」になっていませんか？	ブレーカーを「入」にしてください。
	電源スイッチが「切」になっていませんか？	電源スイッチを「入」にしてください。
ヒーターが点灯しない ヒーターが使用中切れる	内部温度は高くないですか？ サーモスタットが働いていませんか？	「強」の場合は10分以内に再び点灯します。故障ではありません。
異音がある（カチッと音がある）	ヒーターが点灯・消灯するときの音ではありませんか？	サーモスタットの動作音です。故障ではありません。
においがする	はじめてのご使用ですか？	少し塗料の臭いがある場合があります。ご使用に伴い次第に消えます。
	ヒーターカバーやヒーターの周辺にほこりが付いていませんか？	掃除機などでほこりを取り除いてください。
煙がでる	ヒーターカバーやヒーターの周辺にほこりが付いていませんか？	掃除機などでほこりを取り除いてください。

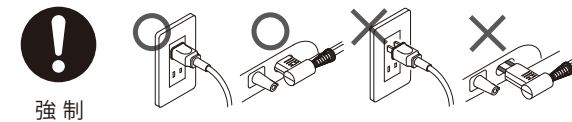
これらの処置をしても直らない場合、この表以外の症状はお買い上げの販売店にご相談ください。

ご相談の際にはお手数ですが「品名」および「形名」をお調べの上、販売店までご相談ください。
「品名」および「形名」は、天板を外し、こたつ本体上面の貼り付けラベルをご参照ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

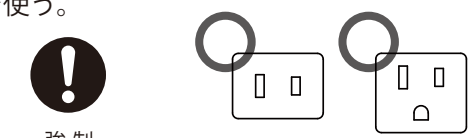
警告

電源プラグと器具用プラグは根元まで差し込む。



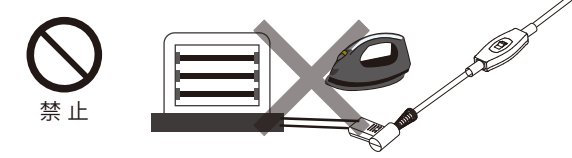
差込みが不完全ですと、ほこりや湿気などが付着し火災や感電の原因になります。変形変色したプラグや緩んだコンセントは使用しないでください。

交流100Vの電源、定格15A以上のコンセントを使う。



たこ足配線などでコンセントの定格を超えると発熱による火災の原因になります。

電源コードは同梱の電気こたつ以外に使用しない。



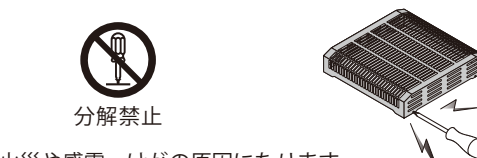
火災や感電、やけど、故障の原因になります。

ぬれた手で電源プラグや器具用プラグを抜き差ししない。



感電の原因になります。

分解や修理、改造をしない。



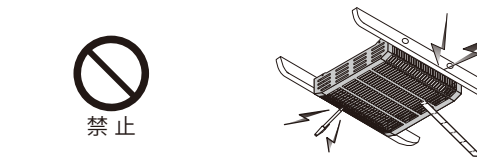
火災や感電、けがの原因になります。交換・修理については、当社お客様相談室にお問い合わせください。

衣類や座ぶとん等をこたつに入れたり、洗濯物を乾燥させたりしない。



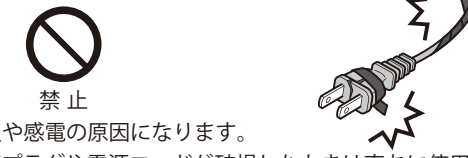
火災の原因になります。

ヒーターユニットの中に異物（紙や布、金属類など）を入れない。



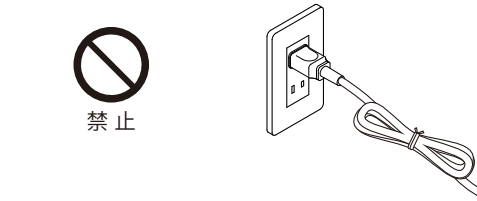
火災や感電、やけど、故障の原因になります。

傷んだ電源プラグや電源コードの部品は、絶対に交換、分解、修理、改造をしない。



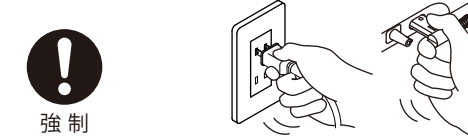
火災や感電の原因になります。電源プラグや電源コードが破損したときは直ちに使用を中止し、販売店にお問い合わせください。

電源コードを束ねたまま通電しない。



火災や感電の原因になります。

電源プラグや器具用プラグの抜き差しはプラグを持っておこなう。



電源コードを持って抜き差しすると、断線やショートを引き起こし、火災や感電の原因になります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

 警告	
<p>使用しないときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。</p> <p> 電源プラグを抜く</p> <p>コンセントに接続したままにすると、火災や感電、けがの原因になります。</p>	<p>電源プラグは定期的に掃除する。</p> <p> 強制</p> <p>電源プラグにほこりや湿気が付着すると、火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。</p>
<p>電源コードに水などを掛けない。</p> <p> 水ぬれ禁止</p> <p>火災や感電、漏電の原因になります。水がかかったときは、直ちに使うのを止めて、お買い上げの販売店にご相談下さい。</p>	<p>電源スイッチはこたつふとんの外に出して使用する。</p> <p> 強制</p> <p>こたつ入りの際に引っ掛けるなどして、断線やショートを引き起こし、火災や感電、故障の原因になります。</p>
<p>ライターやスプレー缶等をこたつの中に置かない。</p> <p> 禁止</p> <p>爆発や火災の原因になります。</p>	<p>使用中や使用直後のヒーターユニットに触れない。</p> <p> 禁止</p> <p>やけどの原因になります。</p>
<p>器具用プラグに異物を入れない。</p> <p> 禁止</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>	<p>電源コードはヒーターユニット付属のもの、または専用の交換品を使用する。</p> <p> 強制</p> <p>他社製や専用以外の電源コードを使用すると、誤作動を起こし、火災や故障の原因になります。</p>
<p>ヒーターユニットを上向きで使用しない。</p> <p> 禁止</p> <p>火災の原因になります。</p>	<p>電源コードを固定して使用する。</p> <p> 強制</p> <p>電源コードを固定せずに使用すると、断線やショートを引き起こし、火災や感電、故障の原因になります。</p>

知っておいていただきたいこと

■ヒーターユニットについて

- ・初めてご使用になるときは塗料の臭いや煙が出ることがあります。ご使用とともに次第に消えます。
- ・通電中に「カチッ」という音がします。これはサーモスタットの動作音で、異常ではありません。
- ・器具用プラグが熱く感じられることがあります。これはヒーターユニットからの熱によるもので、異常ではありません。

■ヒーター（発熱体）について

- ・電源を入れてから熱を感じるまでに20～30秒掛かります。
- ・ヒーターは明るくなりませんが、熱を感じる場合は正常に動作しています。
- ・ご使用中にヒーターがついたり消えたりします。これはサーモスタットの動作によるもので異常ではありません。
- ・温度調節ツマミを「弱」方向に回したとき、ヒーターが消えることがあります。これはサーモスタットの動作によるもので異常ではありません。
- ・ヒーターに付着したほこりなどが焼けて、臭いが出ることがあります。

■ヒーターカバーについて

- ・経年劣化等により、ヒーターカバーが変色することがあります。

■天板の結露（水滴）について


- ・お部屋の湿度が高いときやふとんが湿っているときなど、天板に水滴がつくことがあります。水滴は乾いたタオルで拭きとってください。
- ・水滴の量が多いときは、天板とふとんの間に乾いたタオルを敷いてください。水滴の量を抑えることが出来ます。
- ・時々ふとんを干すようにすると、より結露を防ぐことが出来ます。

■お客様による修理について

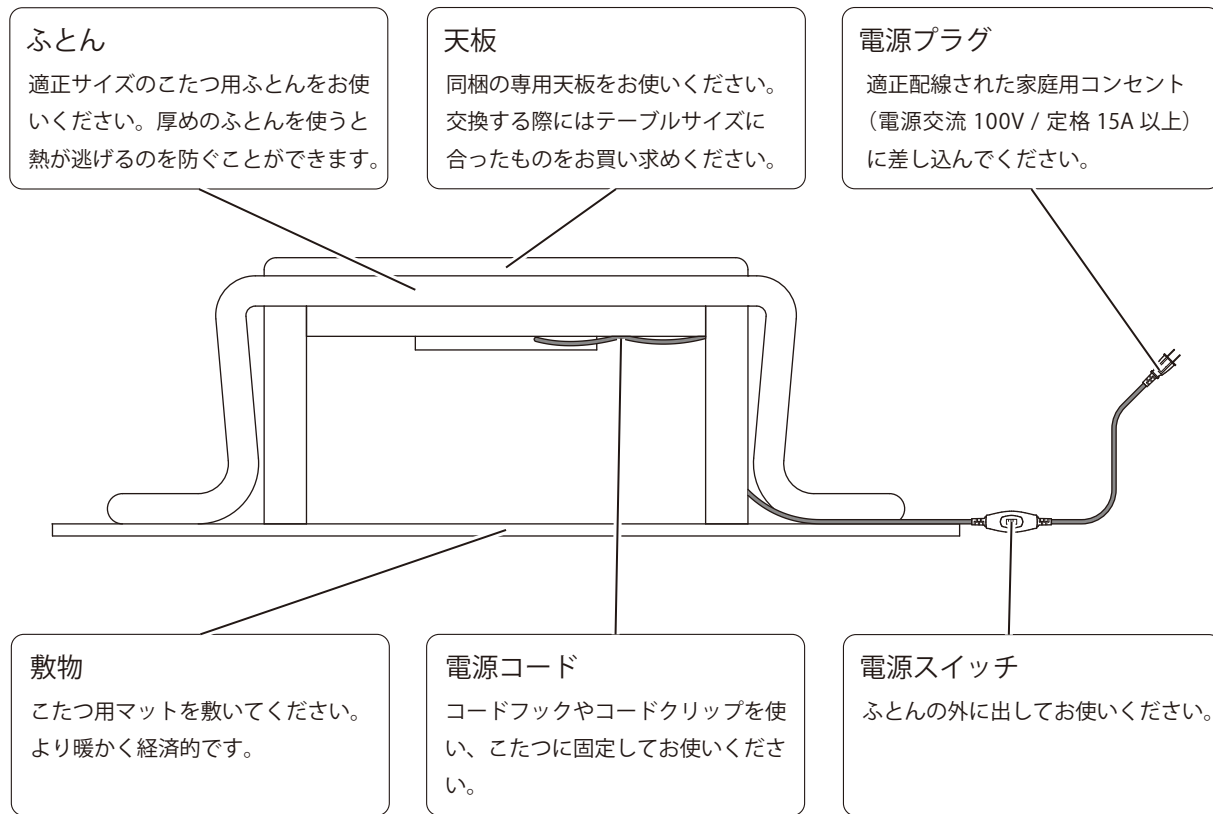
- ・個人へ修理部品の供給はおこなっていません。
- ・お客様によるヒーターユニットや電源コードの分解・修理の痕が見られる場合は、保証対象外となる場合があります。

■経年劣化について

- ・長期間使用したこたつは、火災などの事故につながる恐れがあります。安心してお使いいただくため、定期的な点検をおすすめします。点検に関するご相談はお買い上げの販売店にご相談ください。

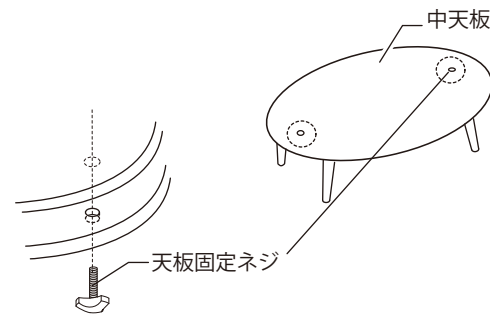
愛情点検	長年ご使用のヒーターの点検を！	
	こんな症状ありませんか	ご使用の中止
	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグや電源コード、本体が異常に熱くなる。 ・「弱」でも異常に熱くなる。 ・本体から煙や異常なおいが出る。 ・異常な音がする。 ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 	<p>事故防止のため、直ちに使用を中止し、山善サポートセンター又は販売店にお問い合わせください。</p> <p>傷んだプラグやコードは、絶対に交換、分解、修理、改造をしないでください。</p>

こたつの使い方



テーブルとしての使い方

- 電源プラグ・器具用プラグを抜く。
 - 電源を「切」にしてから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 器具用プラグをヒーターユニットから抜いてください。
- 電源コードを外す。
- 取り外した電源コードは、なくさないようお客様で大切に保管してください。
- 天板を固定する。
 - 中天板についている天板固定ネジと天板裏側の穴（2ヶ所）の位置を合わせて、固定ネジを2ヶ所とも締め付けてください。



⚠ 注意

- 天板が動かなくなるまで、天板固定ネジを締め付けてください。完全に固定されていないと、天板がずれるなどしてけがをする恐れがあります。
- ヒーターの取付部やこたつの脚部に緩みやガタツキがないか定期的に点検してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告

ふとんをこたつの中に押し込んだり、片開きで使用したり、座いすをこたつの中に入れてたりしたまま使用しない。ふとんがヒーターに接触し火災の原因となります。

禁止 ふとんをこたつの中に押し込んで使用しない。
 禁止 ふとんを片開きにして使用しない。
 禁止 座いすをこたつの中に入れて使用しない。

足を外したり、逆さにしたり、立てたりして使用しない。火災の原因になります。

禁止 片脚で使用しない。
 禁止 立てて使用しない。
 禁止 脚を外して使用しない。

逆さにして使用しない。

ペットをこたつに入れれない。

禁止 本体や電源コードを傷つけ、火災や感電、故障の原因になります。ペットの健康に悪影響を与える可能性があります。

ヒーターユニットを床に直接置かない。

禁止 ヒーターユニットは卓用こたつ専用です。床に置いて足温器として使用したり、掘こたつの中に設置したりしないでください。火災の原因になります。

電源プラグや電源コードを交換したり、傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしない。

火災や感電の原因になります。傷んだプラグやコードは、絶対に交換、分解、修理、改造をしないでください。プラグやコードが破損したときは直ちに使用を中止し、販売店にお問い合わせください。

本体を横に揺らしたり、激しく動かさないでください。

禁止 本体や脚の破損、ボルトが欠落し、火災や感電、やけど、故障の原因になります。

天板の上に座ったり、踏み台にするなどのご使用や、乱暴な取扱いは避けてください。

禁止 けがや故障の原因になります。

天板に重量のある物をのせたり、過度な荷重や衝撃を与えないでください。

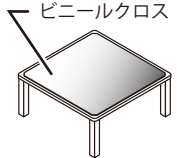
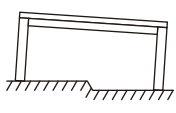


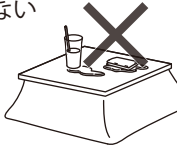
禁止 本体が破損し火災や感電、やけど、故障の原因になります。

こたつの脚や椅子の脚などで電源コードを踏まない。

禁止 電源コードを傷つけ、火災や感電、故障の原因になります。

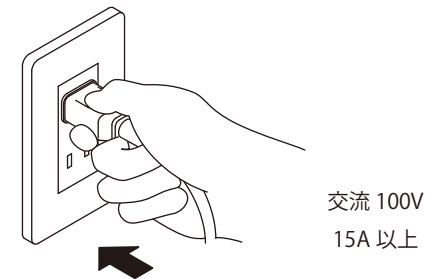
安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠️ 注意

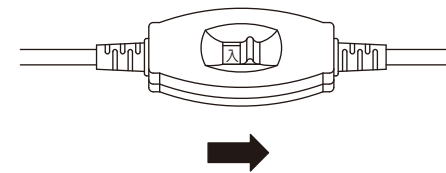
<ul style="list-style-type: none"> ビニールクロス等をテーブルに密着させて使用しない。 ビニールクロスが貼りつき、天板の塗装が傷んだり、変色したりする恐れがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> テーブルを傾きのある場所に置かない。 傾きのある場所に置くと、けがや故障の原因となる恐れがあります。 
<ul style="list-style-type: none"> テーブルに熱いものを直接置かない。 加熱したやかんやなべ、熱い急須やコップ、加熱調理器具などを置くと、天板の塗装が傷んだり、変色したりする恐れがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> テーブルをざらついたものでこすらない。 茶わんや皿など底面がざらついたものでこすると、天板に傷がつく恐れがあります。 
<ul style="list-style-type: none"> 天板が濡れたまま、長時間放置しない。 濡れたままの布巾、濡れたカップ等を置いたままにしますと、天板が変色、変形する恐れがありますので、ご注意ください。 天板が濡れた場合は、乾いた布巾等で速やかに拭き取ってください。 	
<ul style="list-style-type: none"> こたつに強い振動や衝撃を与えない。 ヒーターが断線する恐れがあります。また製品の寿命が短くなる恐れがあります。 他の暖房器具と併用しない。 ヒーターや併用した暖房器具が故障したり誤動作したりする恐れがあります。 携帯型機器をこたつに入れない。 電池が異常発熱し、やけどの原因となる恐れがあります。 使用中にヒーターを見つめない。 目に悪影響を与える恐れがあります。 天板とふとんがない状態で使用しない。 温度制御に異常をきたし、やけどの原因となる恐れがあります。 こたつを引きずりながら移動しない。 床面が傷つく恐れがあります。 お手入れにシンナー、ベンジン、漂白剤、アルコールなどを使わない。 天板や脚が変形や変色する恐れがあります。 他の暖房器具から熱を取り入れるダクトを使用する場合には注意すること。 温度制御が正常に働かなくなることがあります。 こたつ本体に直接熱風があたると、塗装が傷んだり変色や変形したりする恐れがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> こたつを熱に弱い床材や敷物の上で使用する場合、断熱をする。 断熱をしないと、ヒーターからの熱によって下記の敷物や床面などは変形・変色・割れ・すき間が生じる恐れがあります。こたつ用マットを敷き、熱が直接当たらないようにしてください。 ※ 熱に弱い敷物 ※ 熱に弱い床材 コルクマット、ピータイル、寄せ木、天然木の床、白木床、プラスチックシート（ポリプロピレンや塩化ビニールなど）貼りの床など ※ 新しい畳の上 青畳が直射日光で変色する現象が、こたつの光でも起こります ふとんの材質に注意する。 ご使用状況とふとんの材質によっては、ヒーターからの熱で変色することがあります。

ご使用の順序

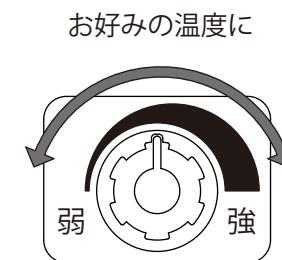
- 電源プラグをコンセントに差し込む。
 - 電源スイッチが「切」であることを確認してから、電源プラグを差し込んでください。
 - 家庭用コンセントをご使用ください。



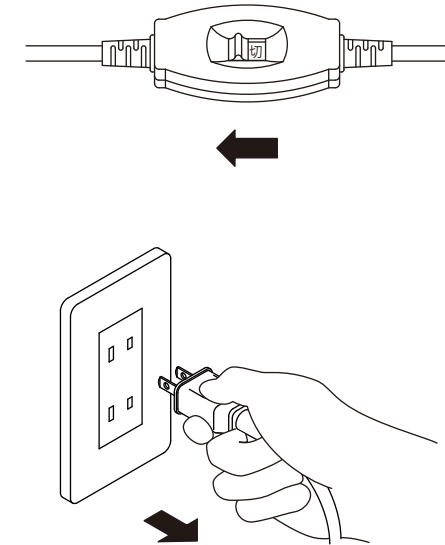
- 電源スイッチを入れる。
 - 電源スイッチで入り切りを行います。本体にスイッチはありません。



- お好みの温度に合わせる。
 - 温度調節は温度調節つまみを使います。
 - 温度調節は「弱」から「強」まで無段階で可能です。



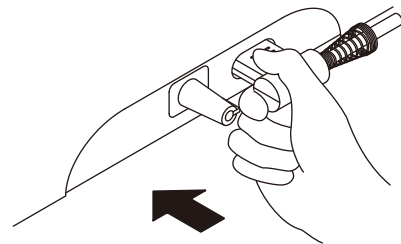
- ご使用後や外出される時。
 - 電源スイッチを「切」にしてください。
 - コンセントから電源プラグを抜いてください。



ご使用の準備

3. 器具用プラグをヒーターユニットに差し込む。

- ・電源プラグが差されていないことを確認してから、器具用プラグを差し込んでください。
- ・イラストと同じ向きに奥まで完全に差し込んでください。

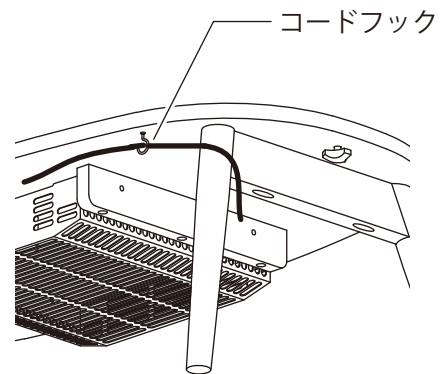


⚠ 注意

ヒーターやこたつ脚に緩みやガタツキがないか、定期的に点検してください。緩んだりガタついたりしたまま使用すると、けがや故障の原因となる恐れがあります。

4. コードを固定する。

- ・コードをコードフックに掛けてください。コードフックはこたつ脚付近にあります。
- ・コードを適切な長さに調整してください。

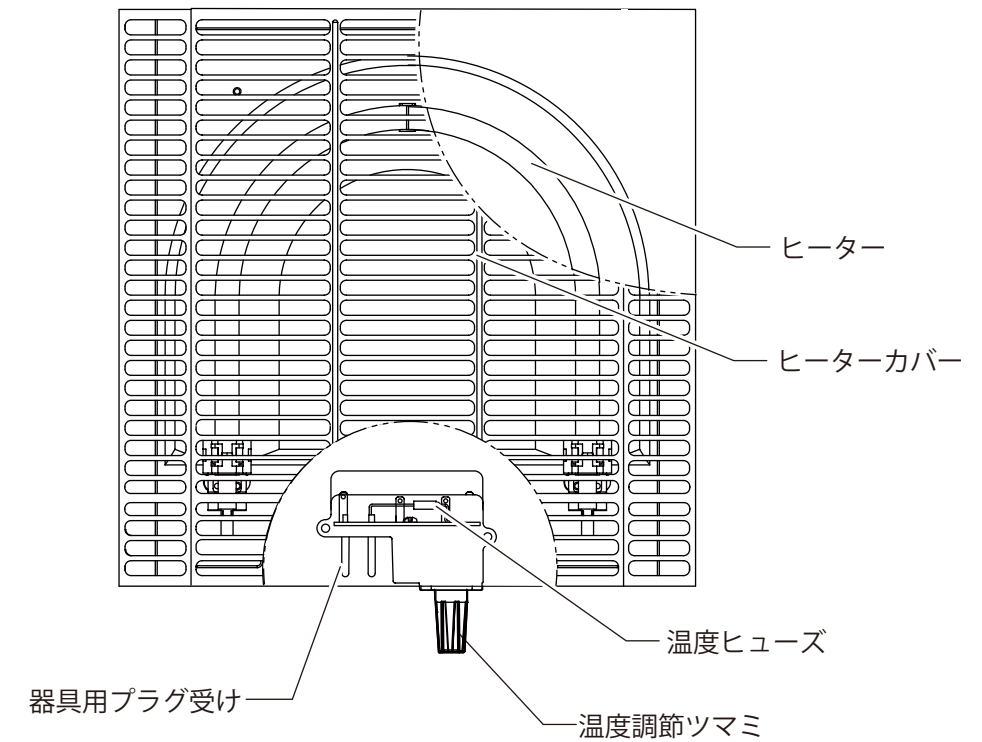


5. ふとんを掛け、天板を置く。

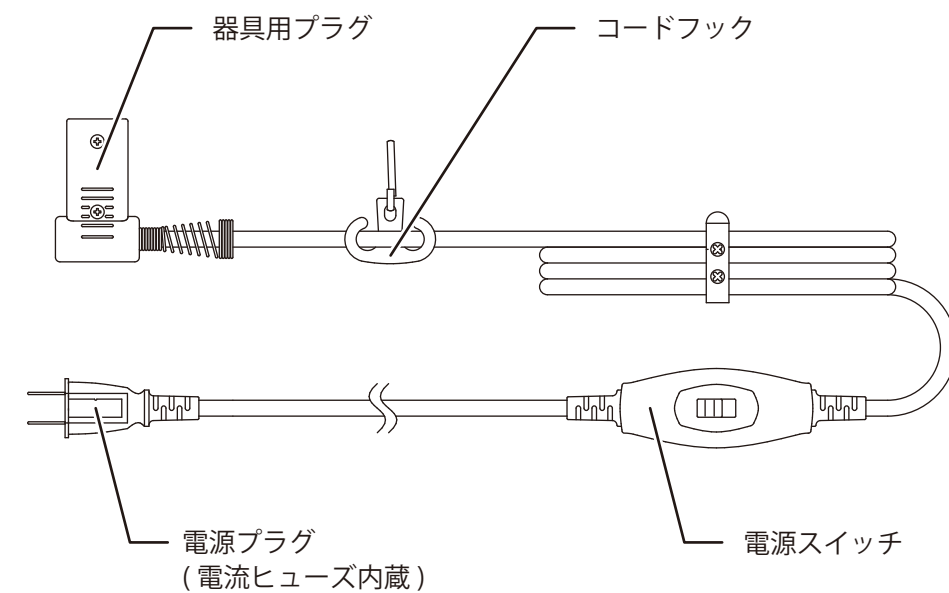
- ・こたつふとはテーブルサイズに合ったものをお買い求めください。
- ・天板は同梱されているものをご使用ください。
- ・電源スイッチはふとんの外に出してください。

各部のなまえ

ヒーターユニット

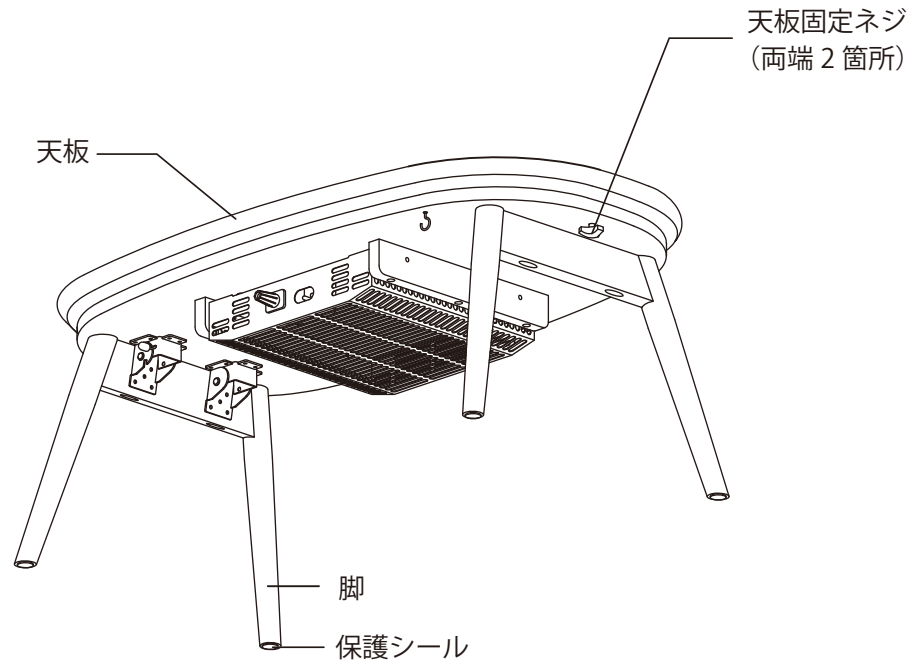


電源コード



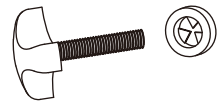
各部のなまえ

テーブル



※ イラストと実際の商品が多少異なることがあります。

付属品



天板固定ネジ
4本

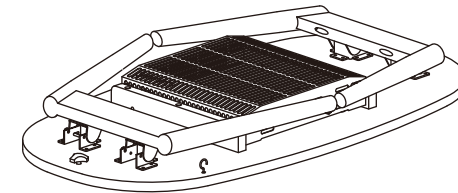


保護シール
4個

ご使用の準備

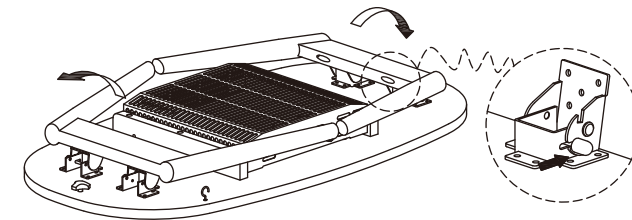
1. こたつを裏返す。

- ・ 水平な場所に、こたつを裏返しに置いてください。
- ・ 危険ですので、壁などに立て掛けての作業はしないでください。



2. 脚を立てる。

- ・ 脚の先端を持ち完全に起こしてください。
- ・ 両側共立ててください。



折れ脚のたたみ方

- ・ 片側のロック解除レバーを手前に引きながら、脚を軽く折りたたんでください。
- ・ ロック解除レバーから手を離し、脚の先端を持ち完全に折りたたんでください。
- ・ 折れ脚の金具は固めに設定されています。数回折りたたむとスムーズに動くようになります。

⚠ 注意

- ・ 脚を折りたたんだり、元に戻したりするときは、金具や脚に指を挟まないようにしてください。けがをする恐れがあります。
- ・ ご使用前に脚がロックされているか確認してください。ロックせずに使用すると、けがや故障の原因となる恐れがあります。

